

# 緑斑モザイク病

## ウリ科野菜の病気



スイカの被害葉  
やや白色がかったモザイク症状を呈し、展開した葉では不明瞭となる。



スイカの被害果  
果実表面が油浸状のモザイクとなり、果実内部は、いわゆるコンニャク症状となり異臭がある。なめると舌に刺激がある。



キュウリの被害葉  
はじめ未展開葉にモザイク症状を呈し、展開した葉では不明瞭となる。



キュウリの被害果  
凹凸をともなった激しいモザイク症状を呈する。

### 特徴

上位葉やわき芽に、最初黄色斑点をあらわし、のちにモザイク症状となります。果実は凹凸をともなったモザイクとなります。

葉のモザイクによって本病の可能性を推定できますが、症状だけではCMVやWMV2などとの区別は困難ですので、専門機関での診断が必要です。

### 原因

キュウリ緑斑モザイクウイルス（スイカ系：CGMMV、キュウリ系：KGMMV）によっておこります。土壌伝染、種子伝染、接触伝染しますが、虫媒伝染はしません。また、管理作業中に人によっては場全体にまん延させてしまうこともあります。

### 防除

- ①汚染種子は使用せず、乾熱消毒されたものを使用します。
- ②接触伝染防止のため、発病株は早期に抜き取り処分します。被害株に触れた手やハサミなどは洗剤でよく洗います。